

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連  (北陸)	良くなる やや良くなる	-	-
		一般小売店〔鮮魚〕 (従業員)	・いよいよ北陸新幹線の開業まで100日を切り、目前に迫ってきて、金沢限定かもしれないが一段と景気が上振れる感じが強い。
		百貨店(営業担当)	・北陸新幹線開通に向けた改装がすべて終わり、オープンを待ちわびていた客が増加すると予想する。また、これからボーナス時期に入ることから、年末に向けて客の財布のひもがこれまでよりは緩み、購買意欲が増すのではないかと予想する。
		コンビニ(店舗管理)	・消費者は昨今の物価上昇も渋々ながらも受け入れ、消費マインドはやや回復すると思う。
		乗用車販売店(役員)	・新型車効果を期待している。また、主力車種のメーカーからの流通も軌道に乗るようなので相乗効果を期待する。
		その他小売〔ショッピングセンター〕(統括)	・直近の動きとして、冬物衣料の販売量が上向きである。今後のクリスマス、ボーナス商戦に期待が持てる。これは、久々なことだ。
		高級レストラン(スタッフ)	・3月中旬に北陸新幹線が開通する効果が見込まれる。
		都市型ホテル(スタッフ)	・北陸新幹線の開通が来年の3月に近づき、宿泊や大型の学会、大会の引き合いが多くなってきている。首都圏でのキャンペーンも始まると予想され、期待感が高まっている。ホテル業界でも、改装が相次いでいる。
		タクシー運転手	・今後、ボーナスが出たら、年末年始で忘・新年会もあり、節約傾向も少しは緩み、やや良くなると思う。
		通信会社(営業担当)	・新商品も出そろい客の選択肢も広がり、家族まとめでの販売にも取り組んでいるため、来客数増加に加えて一家族での購入台数増が見込まれる。
変わらない		商店街(代表者)	・円安の影響で、食品等が値上げ傾向にある。衣料については、購買に対する大きな波はあまりないようだ。
		商店街(代表者)	・先行してバーゲン品も出ているが、昨年の在庫処分といった感じで、売る側も旧品を処分するので精いっぱいである。前向きに商品開発をするだけの余力がない。
		商店街(代表者)	・一部飲食業では、12月に衆議院選挙で売上低下を懸念する話がある。しかし、今後2～3か月間は、現状と大きくは変わらないという見方が大半である。世の中の給与は若干増加しているが、円安、ドル高による物価の値上がりなどで、人々の財布のひもはまだ固く、必要なもの以外の購入は控える傾向にある。
		一般小売店〔精肉〕(店長)	・11月は、衆議院議員総選挙が12月に行われることにより、ギフトが前倒しになっている分良いと思われるが、12月は選挙があることから、どうなるか先行きが少し不透明である。
		百貨店(営業担当)	・12月の衆議院議員選挙に対して、いろいろな部分での消費がどうなるかが気になる。特に外食やちょっとしたパーティー形式のもの、今後のお歳暮などが選挙に影響され、12月はやや厳しい動きになると考えている。1月、2月以降については、どのような政治状況になるかによって、まだ少し不透明な部分があるのではないかと考えている。
		スーパー(店長)	・ここ数か月の流れや現状を見たとしても、この先が変わる、変わらないというのは、どちらともいえないのではないかと考えている。
		コンビニ(経営者)	・当店の周辺には体育館や運動場などがあり、イベント立地であることから、日曜、祭日のイベント次第では多くの来店があると思う。ウィークエンドはこれからもあまり変わらないだろうと予想している。
		衣料品専門店(経営者)	・景気については変わらないのではないかと。
		乗用車販売店(経営者)	・消費税増税の延期により、期待していた駆け込み需要がなくなり、しばらくは現状で推移すると思う。
		乗用車販売店(従業員)	・新型車の販売に期待しているが、雪が降るシーズンになるとあまり来客数に期待できない。
自動車備品販売店(従業員)	・車の販売は伸びている状況だが、車両本体のみが伸びている。追加オプションは極力低く抑える傾向が続いており、用品単価も下がる一方の状況で回復の兆しが見えない。		

住関連専門店（店員）	・直近の流れから、買い控えの動きがあらわに見て取れる。家計面から見ても、消費税増税前または夏場利用したクレジットカードの支払、消費税率8%の重みが今になり大きく響き、年金の支給も12月、1月と出費が重なる時期を見越し、財布のひもがより一層固くなっている。GDPマイナス成長の発表もあり、回復からは更に遠ざかったように思う。家具の販売量や住宅の着工件数から見ても、この先良くなる要素は何も見て取れない。
その他小売〔ショッピングセンター〕	・食品価格の値上げ報道や生活コストの増加が相次ぎ、更なる節約志向が高まるのではないかと予想している。また衣料品売上の低迷が長く続いている。季節要因も影響したが全体に需要委縮を感じる。
一般レストラン（店長）	・季節のめぐりや観光シーズンなどの要因を考えると、今月の勢いがそのまま続くとは考えにくい。また、選挙のある時は客足が落ちるのが通例で、少し危惧している。
スナック（経営者）	・円安の進行などにより、ますます中小企業の経営者の来店がなくなることが予想され、期待できない。
観光型旅館（スタッフ）	・11月の予約仕入れは、予算数字まで盛り返したが、11月から1月まで予約保有数はまだ前年比92～95%で前年を下回った。
タクシー運転手	・売上があがる夜の繁華街からの客が相変わらず少ない。
通信会社（職員）	・解散総選挙により審議が進まないことと同じで、景気停滞を招いているように感じる。
通信会社（営業担当）	・契約数は徐々に増えてきてはいるが、前年と比較し変わりなく推移している。客の様子を見ても大きく変化はみられない。
通信会社（役員）	・例年、年末に向けてテレビ、インターネット契約数が最も増加する時期であるが、今年は消費税増税の影響もあり、例年通りの増加は期待できないと考えている。
通信会社（店舗統括）	・これといった上がる要素は見つからない。
通信会社（役員）	・例年契約数が伸びる年末商戦もあり、引き続き好調に契約数を維持していくと思われる。
テーマパーク（職員）	・2～3か月先の様子も、前年同期比で比べると、海外からの客はプラス傾向にあると思う。国内客については、個人客は依然鈍いものと予想されているが、団体客は予約状況にやや持ち直しの傾向がみられることから、トータルで見ると現状並みで推移すると思われる。
競輪場（職員）	・例年通り、年末のビッグレース及び年明けの開催は売上増加が期待できるが、それ以外は変化がないと思われる。
その他レジャー施設（職員）	・会員数は伸び悩む中、重油、ガソリンが値下がりし、経費面で少し助かる。
美容室（経営者）	・景気が悪いという消費者マインドは簡単には払しょくされない。
住宅販売会社（従業員）	・秋の需要時期も終わり、年末年始の雰囲気が広がり、住宅を検討する人は減っている。消費税増税後の需要減をまだ引きずっており、需要が増える気配はない。
住宅販売会社（従業員）	・消費税増税が先送りになると、客の動きや土地や建物などの動きがあまり見られないと思う。
やや悪くなる	
一般小売店〔事務用品〕（店員）	・原材料価格の値上げが仕入価格にも反映されている。販売価格は以前より変わっていないため、利益幅が圧縮されて厳しい。
一般小売店〔書籍〕（従業員）	・選挙後の動向によって変わるかもしれないが、今のところ良くなる要素は何もない。
百貨店（売場主任）	・12月に選挙、1～2月は前年の消費税増税前の先取り需要があり、マイナス要素の方が大きい。
スーパー（店長）	・今後の年末商戦を考えると、客単価の低迷や相場の状況で、天候が暖冬であるとの予想が出ており、急激な上昇は期待できないと思われる。
スーパー（総務担当）	・12月に衆議院選挙が実施されることになったため、12月の景気が不透明になった。特に歳暮ギフト等には影響が出てくると推測される。
スーパー（総務担当）	・現行では、ギフトの動きが前年割れの状況であり、現行の低迷状態は続くと感じられる。春の北陸新幹線開通も期待感が盛り上がらない状況である。
コンビニ（経営者）	・100円のコーヒーや缶コーヒーが発売されていてその販売数が伸びているが、来客数の減少が止まらない。客単価も100円のものが出ることにより、他に上昇しているものもあるが、全体としては伸びていない。前年と同じくらいで、トータルでは前年を少し下回っている状況が続いている。
衣料品専門店（経営者）	・売上が増加する要素は全くなく、先行きは大変不安である。

	衣料品専門店（総括）	・円安によりますます原価が高騰している中で、価格を上げざるを得ないときが必ず来る。そのときに更に購買が減ると考える。
	家電量販店（店長）	・消費税増税の駆け込み需要の反動は終わっていない。回復はまだ先になりそうである。
	一般レストラン（統括）	・外食にとって原料高、労働人口不足について、今後も回復する見込みが立たない。
	観光型旅館（経営者）	・12月の予約数は前年並みであったが、選挙の影響で忘年会の取消しがでている。1月以降は北陸新幹線開業までの影響か、予約数が伸び悩んでいるように思われる。
	都市型ホテル（役員）	・12月14日投票の衆議院選挙を控え、選挙期間中の忘年会の自粛や延期による影響が想定される。
	旅行代理店（従業員）	・仕入れコストのアップを販売単価のアップへすなりと結び付けられないことから、厳しくなる。
	旅行代理店（従業員）	・選挙の影響やアベノミクス効果の薄れが予想される。
	住宅販売会社（経営者）	・消費税増税の先延ばしにより、駆け込み需要が見込めない。
	住宅販売会社（従業員）	・消費税増税の際、昨年9月までに契約すれば旧税率が適用されるという特例があったため、昨年の10～11月は未曾有な反動減となった。現在は徐々に回復してきているが、通常年の8割にも満たない。消費税増税の先送りが決定したが、消費動向はどう動くか予測がつかない。今まで以上に商談から契約までの時間がかかると思われ、受注増加はそれほど期待できない。
悪くなる	スーパー（統括）	・この先2～3か月後については、円安のため食品に関しては輸入食材や原材料が、どんどん値上げになっていくだろう。物の値段が上昇するという事で、客がますます買い控えをしていくということと、12月に衆議院議員選挙が実施されるということ、選挙のある月は売上が良くないことから、大きく低下すると思う。
	コンビニ（店長）	・クリスマスケーキの予約数、非食品の売れ方などを見ていると、ここ数か月で景気が向上することは絶対には感じられないほど悪化している。食品は生活必需品の要素が強く、非食品の一部はぜいたく品と考えているので、非食品の売上減は景気の悪化と個人的に思っている。外的要因の変化はなく、店舗の営業レベルも去年と比較して悪くなっていないと自負しているが、その中でこの売上減少に直面しており、少し焦っている。
	その他専門店〔酒〕（経営者）	・今のままではお歳暮にも全く期待ができない。とにかく今は最悪の状態、今後も更に悪くなるのではないかと心配している。努力はしているが、報われないという感じになっている。
	住宅販売会社（従業員）	・個人消費が冷え込んでおり、受注の増加が期待できない。材料費の上昇もあり厳しくなると考えている。
企業動向関連 (北陸)	良くなる やや良くなる	-
	金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の分の注文の入り具合がやや良い。
	司法書士 税理士（所長）	・相続税対策の相談が相当あるので、青壮年層への資産の移転が進むと思われる。 ・今後は先送りした計画が、だんだんと決まってくると思う。消費税増税も延期になり、しばらくは消費税による需要の変動の影響は避けられるという見通しもあると思う。いろいろな計画が実現していく方向にあることから、少し経済は安定に向かうと考えるが、いかんせん給料が上がらない。今は選挙で空白になっているが、政治が給料を上げる方への指導力、行政への受注単価引上げの指導力が、今はちょっと弱まるので、心配である。
変わらない	繊維工業（経営者）	・選挙後の動きに期待はあるものの、地方そして中小企業へのアベノミクス効果の浸透にはまだ時間がかかりそうだ。
	繊維工業（経営者）	・円安と新商品の開発による輸出に期待したい。また、見通しがつきそうな状況である。
	プラスチック製品製造業（企画担当）	・消費税率が来年10月に上がるとみていたが、先延ばしが決定したことから、今のところ3か月先は今の状況と変わらないとみている。
	一般機械器具製造業（経理担当）	・選挙動向にもよると思うが、円安状況下であれば輸出を中心に今の状況が継続すると思う。
	建設業（経営者）	・冬季ということで、雨や雪で施工できない日もあるだろうが、来年3月の年度末に向かって工事部門はそこそこ多忙な日が続くだろう。年が改まったからと言って、状況が変わるとも思えない。
	建設業（総務担当）	・地域によって工事発注量にばらつきが始め、今後受注価格競争の緩和状態が崩れることが予想される。

		<p>輸送業（配車担当） 金融業（融資担当）</p> <p>金融業（融資担当）</p>	<p>・今後、消費税増税の影響がまだまだ長引くと思われる。 ・消費税増税が先延ばしとなり、第三の矢も鳴かず飛ばずで、規制緩和は全く進まず、日銀だけが頑張っても本質的には変わらないだろうと考える。ただ、内閣支持率が高い限りは、そのようなこともマスコミは触れないことから、何とか現状維持ということで推移していくのではないかと考える。</p> <p>・一段と良くなるには個人消費の回復が必要で、どちらに振れるか確信が持てない状況である。</p>
	やや悪くなる	<p>食料品製造業（役員）</p> <p>一般機械器具製造業（総務担当）</p> <p>精密機械器具製造業（経営者）</p>	<p>・為替相場の円安が続く状況が予測され、原材料の輸入品に占める割合が2 / 3になるため、収益性が一層タイトになることが考えられる。</p> <p>・北米の在庫数が増える傾向が見えるので、北米の販売推移に不安がある。</p> <p>・百貨店等では中国人観光客による想定外の購買など総量では微増であるが、円安による材料費の値上げ要請も多くなっており、また年末での選挙による販売量の落ち込み等も想定され、全体としては厳しい状況が続くと思われる。</p>
	悪くなる	<p>不動産業（経営者）</p> <p>新聞販売店〔広告〕（従業員）</p>	<p>・法人関係もほとんど問い合わせがなくなり、個人の問い合わせや相談も止まってきた。</p> <p>・折込広告を利用している業種の多数が、チラシ出稿率前年割れをしている状況である。広告費削減がいつまで続くのが見えない状況にある。</p>
雇用 関連  (北陸)	良くなる	-	-
	やや良くなる	<p>求人情報誌製作会社（編集者）</p> <p>職業安定所（職員）</p>	<p>・北陸新幹線開通に絡む求人が増えると予測している。</p> <p>・新規求人が増加を続けており、事業所の求人意欲も衰えていないと思われる。</p>
	変わらない	人材派遣会社（役員）	・1～3月の明るい見通しは全く感じられない。人材需要件数も暗い見通しである。
		人材派遣会社（社員）	・年末年始に向けて単発の派遣依頼は昨年同様の傾向だが、派遣先の人材に対する要求レベルは高くなってきている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人数は前月、前々月と比較して増加傾向にあり、底は打ったように見える。ただし、アルバイトなど非正規の募集が多い。
		職業安定所（職員）	・良くなっているという事業所の声がある一方で、先行きに不安を感じている事業所の声が聞かれる。
		職業安定所（職員）	・新規求人数の伸びが鈍化しており、今後注視していく必要がある。
		民間職業紹介機関（経営者）	・改正派遣法が重要案件であったにも関わらず、未成立廃案となったことで、今後、派遣先等にどのような影響を及ぼすか見通せない状況になった。
		学校〔大学〕（就職担当）	・12月に選挙があるが、景気の影響が大きく変わるのかわからない。
	やや悪くなる	-	-
悪くなる	-	-	